

エンジンポンプ  
ENGINE PUMP

## EWP-10D

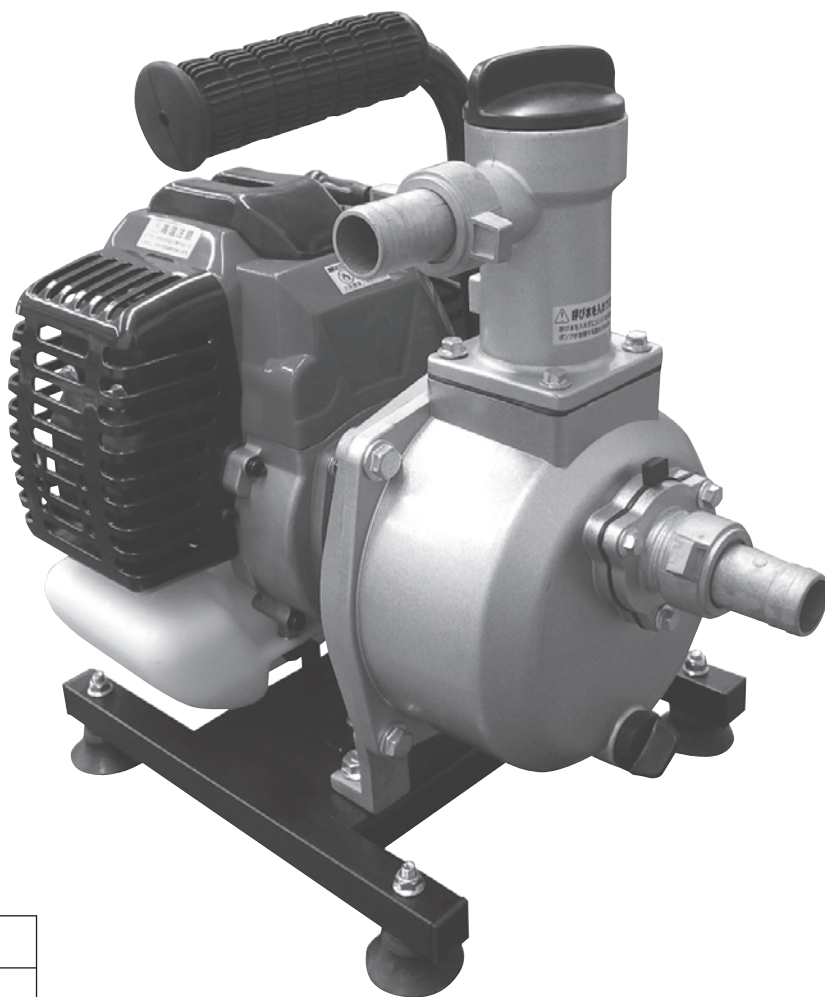
### 取扱説明書

このたびは、弊社「エンジンポンプ EWP-10D」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

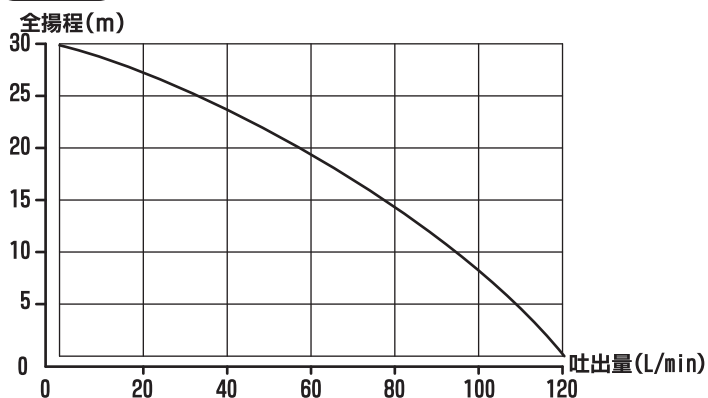
ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

この製品は、海外ではご使用になれません。

USE ONLY IN JAPAN.



性能曲線



# 【安全上のご注意】




- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。










## ●表示と意味

 **警告**  
 使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。


















 **注意**  
 使用を間違った場合に、人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

- ※△注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。  
 ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。
















図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

 <b>警告</b>	
・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。	
・疲れている時や体調の悪いとき、酔っぱらっているとき、又は薬物を服用しているときは絶対に使用しないでください。	
・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検または修理を依頼してください。	
・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。	
・燃料は注入口の口元一杯まで入れず、8分目程度にしてください。運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。	
・燃料は必ず潤滑油混合ガソリン50：1（無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル）を補給してください。軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料・粗悪ガソリン等を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しますと、エンジンを損傷する原因となります。	
・分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害等に対して、当社は一切の責任を負いかねます。	
・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。	







 警告

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転中はもちろん、使用しないときでも本機の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械の点検や修理を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用後すぐにエンジンやマフラーに触れないでください。ヤケドの原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジンは作業機に搭載した状態で使用するようには作られていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転操作のわからない人、指導を受けていない人、お子様には絶対操作させないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は必ずエンジンを止め、エンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認してから補給してください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備点検・燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり、火気や火花を近づけないでください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機の周りに、可燃性・石油、シンナー、火薬、揮発性の液体、ガス等の燃えやすい物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤って本体を落としたり、ぶついたりした場合は異常の有無を確認してください。破損や亀裂、変形が無いことをよく確認してください。ケガや火災の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 点検作業等を行う際は、通行の妨害にならないような場所及び平坦で安全な場所で行ってください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送途中の衝撃等により、製品が破損したり、取付部品が曲がったり外れたりする場合がありますので、ご使用前には必ず確認して、正規の状態でご使用ください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可燃性・揮発性の液体やガス等の燃えやすいものの近くでは運転しないでください。爆発や火災の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体を車で運搬する場合は、燃料タンクに燃料が入っていない(空の状態)ことを確認してください。また、本体が動かないようにしっかり固定してください。火災や事故の原因となります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機を始動させる前に、必ず全てのボルト・ナット等が適切に締め付けられているか確認してください。調整用の工具類は使用後すぐに外すようにし、エンジンを始動する前には必ずそれらが外してあることを確認してください。</li> </ul>	

 警告

・作業以外で本機を移動する際は必ずエンジンを停止させてから移動させてください。	
・本機をお子様に操作させたり、近寄らせないでください。ケガの原因となります。	
・使用方法・作業方法・周囲状況等に十分に注意をして使用してください。軽率な行動は事故やケガの原因となります。	
・リコイルスターターを引いてエンジンをかけるとき、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。	
・作業場所には、作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。	
・指定された用途以外に使用したり、水中で作業しないでください。	
・本機を無人で放置しないでください。	
・夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨中や濡れた場所では使用しないでください。足元が不安定で、事故の原因となります。	
・安全に使用するために、ポンプの能力に合った負荷で使用してください。過負荷で使用すると発熱し、ポンプの故障や火災等の原因となります。	
・使用中、機械の調子が悪かったり、異常音や異常振動等がしたときには直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。	
・スイッチを「切」にした時、エンジンが完全に停止していることを確認してください。また、本体から離れるときは、スイッチを「切」にしてエンジンを停止させてください。	
・安全に作業を行うために、エンジンを始動させないで、機械の操作方法を練習してください。	
・修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社のお客様相談窓口までご依頼ください。ご自身で修理をすると、事故やケガの原因となります。	
・本機を使用しない場合は、燃料を抜き、お子様の手の届かない乾燥した場所または鍵のかかるところに保管してください。	
・燃料の混合、および給油した場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。	

 **注意**

・燃料システムの部品に異常が無いかを定期的に点検してください。	
・使用時、燃料は常に新しい物を使用してください。古い燃料を使用していると、運転が不調になる原因となりますので絶対に使用しないでください。	
・リコイルスターターや冷却フィンの周りについたゴミは取り除くようにしてください。また、定期的にエアフィルター清掃を行ってください。	
・作業をする前に、その地域の規則や取り決めがあるか確認してください。ある場合は、それに従ってください。	
・本体は注意深く手入れをしてください。	
・長期間の保管の際は、燃料タンク・キャブレター内の燃料を抜いてください。各部の清掃をきちんと行い、金属部分には薄くオイルを塗ってください。	

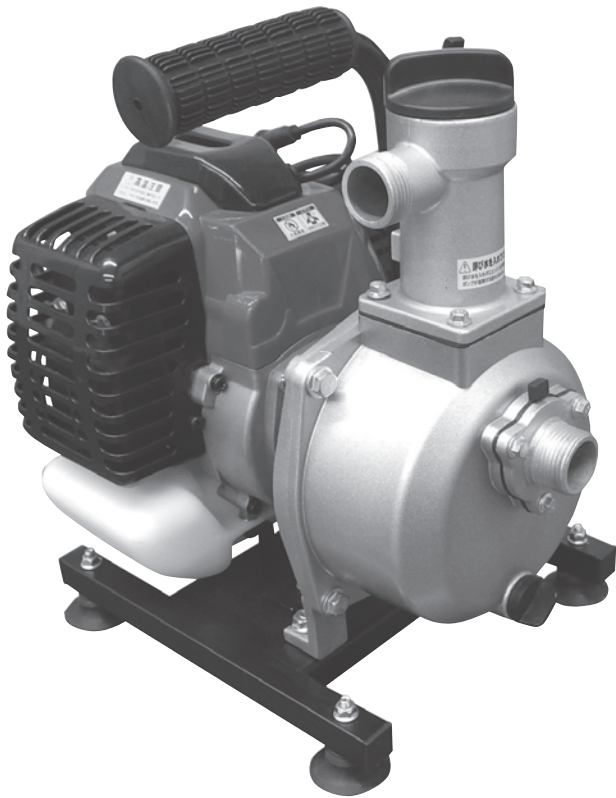
※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。

## 【仕様】

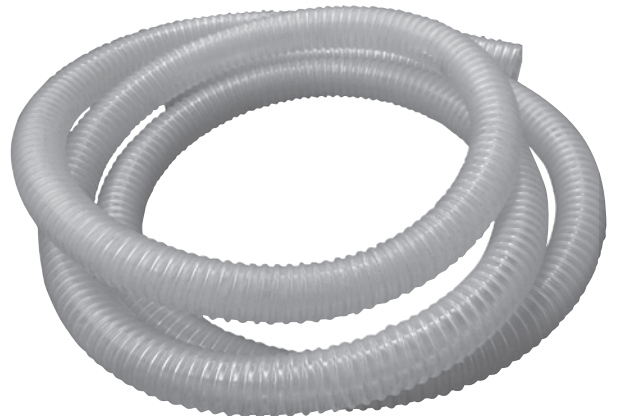
エンジン形式	空冷2サイクルガソリンエンジン
使用燃料	潤滑油混合ガソリン 無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル 50：1
排気量	43mL
出力	1 kW (1.36PS) /6500min <sup>-1</sup>
燃料タンク容量	840mL (使用時間約1時間)
始動方式	ダンパー付きリコイルスターター
点火プラグ	TORCH：L6RTC (NGK：BPMR6A互換)
吸入揚程	8m
全揚程	30m
最大吐出量	120L/min
吸入吐出口径	Φ25mm (1インチ)
騒音値	約96dB
本体寸法	W360mm×D250mm×H350mm
質量	約8kg

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

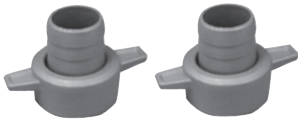
**【梱包内容】** ※大きさは実寸比と異なります。



本体×1



サクシヨンホース3m×1



Φ25mmカップリング×2



カップリング用パッキン×2



Φ25mmホースバンド×3



ドライバー×1



25mmストレーナー×1

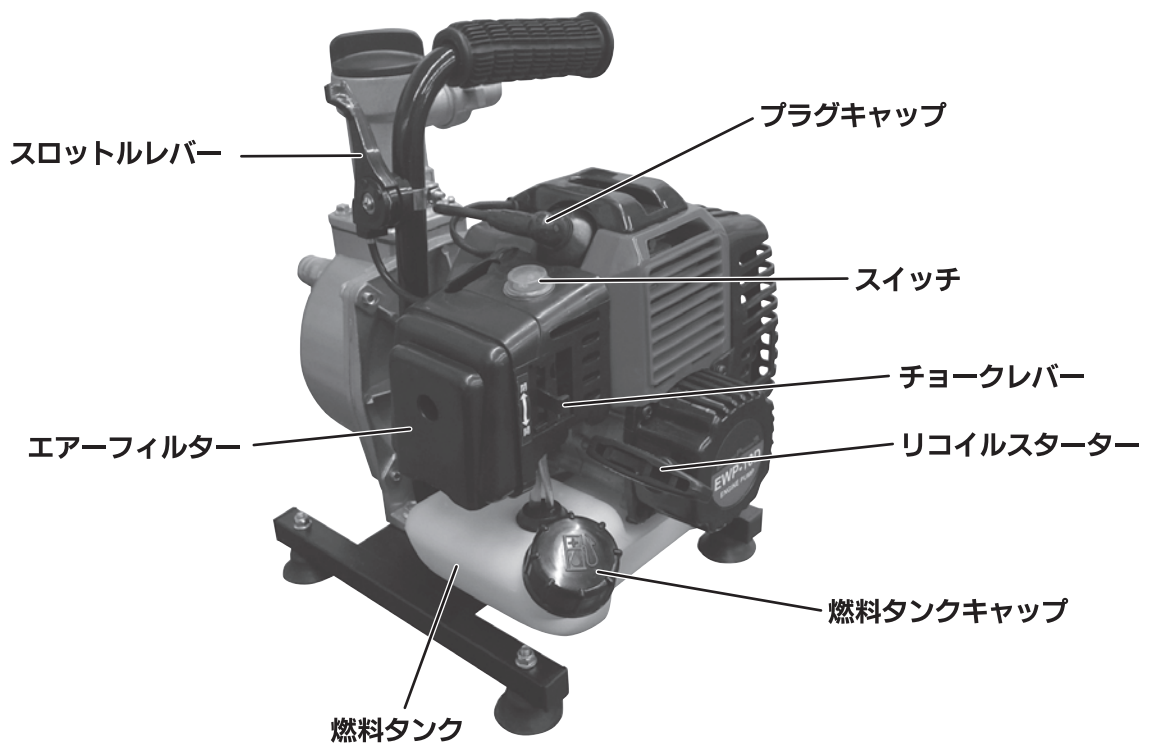
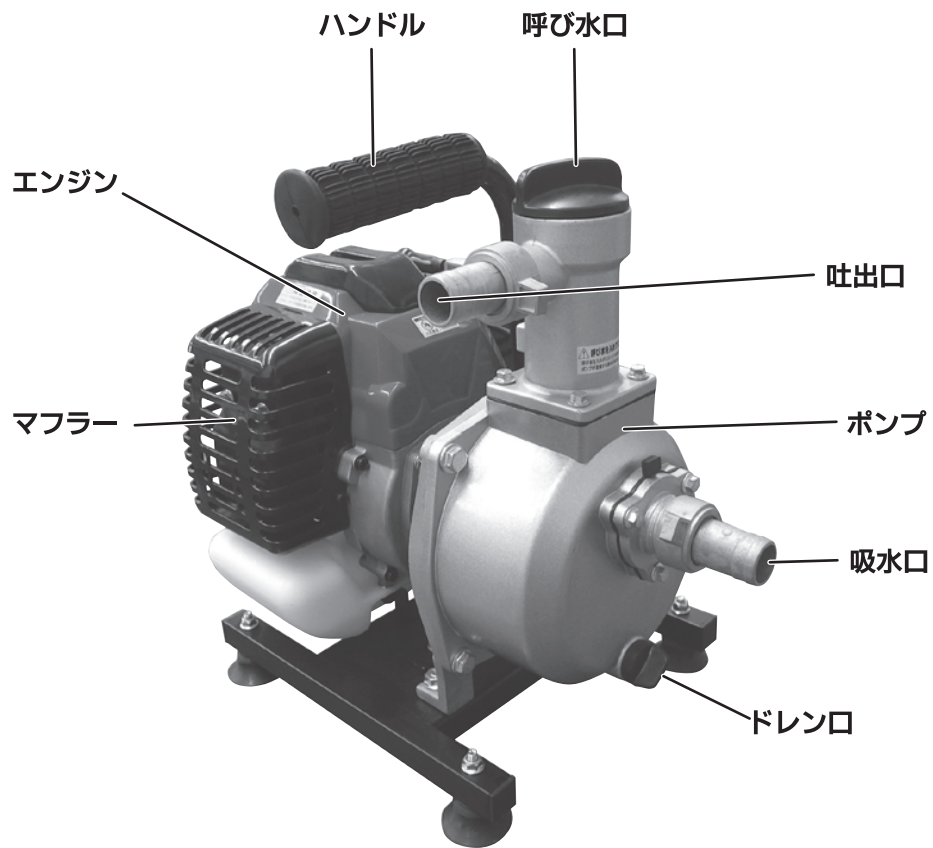


プラグレンチ×1



混合ガソリン容器×1

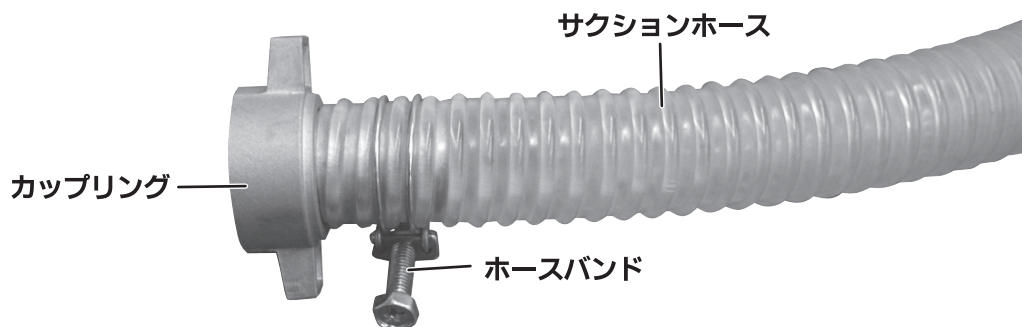
# 【各部名称】



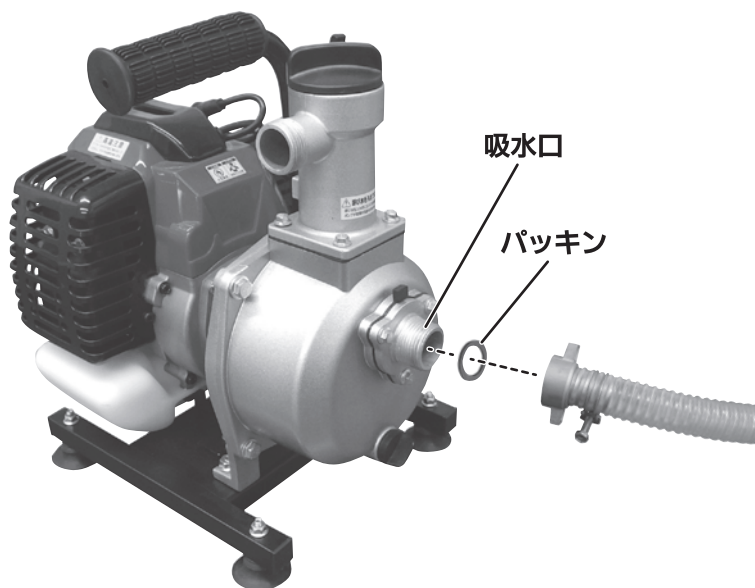
## 【組立方法】

### ●吸水ホースの取り付け

- ①ホースバンドを使い、付属のサクシヨンホースをカップリングに接続します。  
※ホースバンドは確実に取り付けてください。



- ②吸水口にカップリング、吸水ホースを取り付けます。カップリングを時計方向に回してしっかりと取り付けてください。



### ●ストレーナーの取り付け

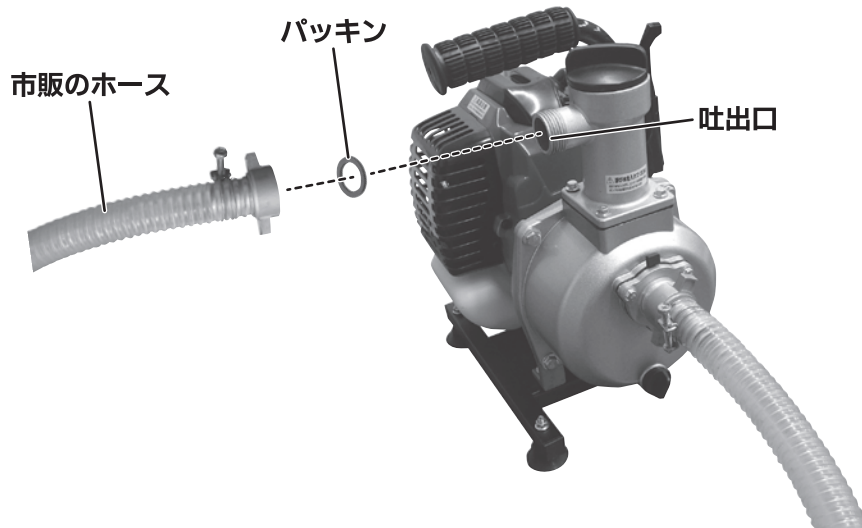
- ・ホースバンドを使い、付属のサクシヨンホースをストレーナーに接続します。  
※ホースバンドは確実に取り付けてください。





## ●吐出ホースの取り付け

- ・吐出口にカップリング、市販のホースを取り付けます。カップリングを時計方向に回してしっかりと取り付けてください。
- ※吐出口に接続するホースは付属されておりません。市販されているホース（内径25mm）を別途お買い求めください。



## 【使用方法】

### ●燃料の準備・給油

#### ⚠ 警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼしてしまった場合には、こぼした燃料を良く拭き取り、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・燃料の混合・給油を行うときは、火気の無い場所で行ってください。タバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。火災・爆発・ヤケドの原因となります。
- ・本機は空冷2サイクルガソリンエンジンですので、使用燃料は50：1(無鉛ガソリン：2サイクルエンジン専用オイル)を使用してください。ガソリンのみで使用したり、混合比を誤りますとエンジンが故障する原因となります。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。肌についたり目に入った場合はただちに流水で充分洗い流し、体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

#### ⚠ 注意

- ・燃料は、作業に必要な量をその都度準備してください。1ヶ月以上経過した燃料は揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因となります。
- ・作業終了後、使用しないときは燃料をタンクから抜いてください。故障の原因となります。
- ・燃料は、燃料タンクの口元いっぱいまで入れないで、8分目位までとしてください。
- ・燃料はガソリン専用の容器に入れて、火気のない場所で保管または運搬してください。

①燃料タンクキャップを回して外し、混合ガソリンを給油します。

②給油後は、燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。

※口元一杯まで入れないで、8分目程度にしてください。

◇無鉛ガソリンと2サイクルエンジン専用オイルとの混合比

無鉛ガソリン(L)	2サイクルエンジン専用オイル(mL)
0.5	10
1	20
2	40

## ●呼び水



- ・呼び水を入れずに運転すると、ポンプ故障の原因となります。
- ・運転前には必ず呼び水口から水を注入してポンプ内を満水の状態にしてください。呼び水が不足すると、自吸性能が低下します。



## ●プライミングポンプ

- ・燃料タンクに混合ガソリンを入れましたら、気化器の下側に付いているプライミングポンプを3～5回押し、燃料を送り込んでください。



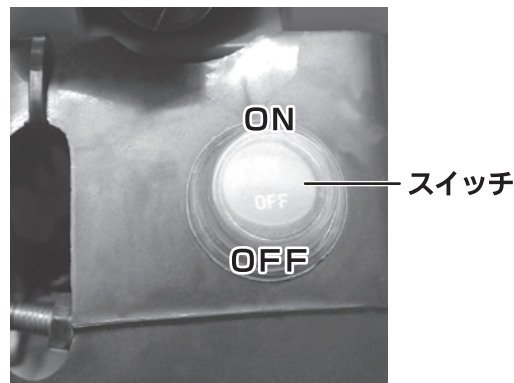
# 【エンジンの始動】

## 警告

- ・エンジンを始動させる前に必ず各部の点検を行ってください。
- ・疲れている時や体調の悪い時、酔っ払っている時、又は薬物を服用している時は絶対に使用しないでください。
- ・エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、点検又は修理を依頼してください。
- ・屋内や倉庫等の換気の悪い場所では使用しないでください。また、風通しの悪い場所や排気のこもる場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となります。
- ・燃料の混合、および給油した場所でエンジンを始動させない、少なくとも3m以上離れた所で始動させてください。

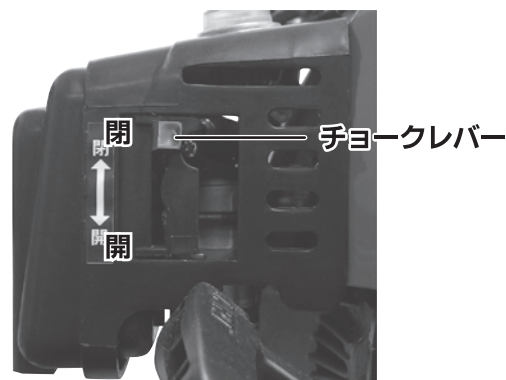
### ●スイッチ

- ・スイッチをONにします。



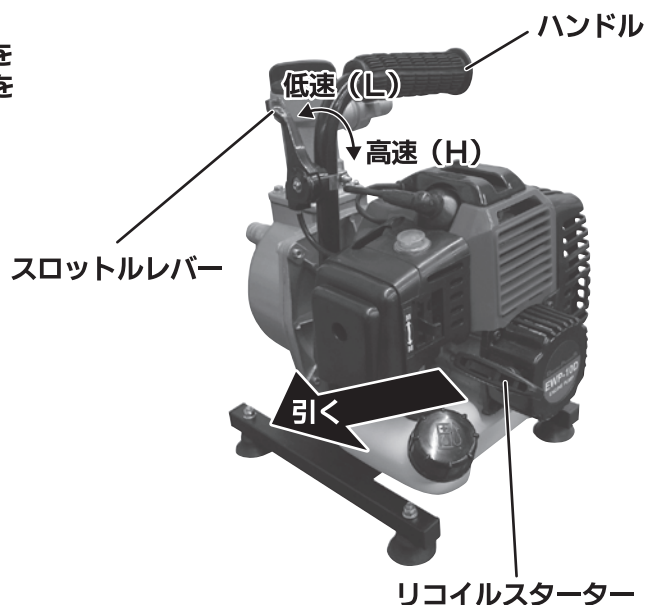
### ●チョークレバー

- ・エンジンを始動させるときはチョークレバーを閉側にしてください。
- ※エンジン始動後は調子を見ながら少しずつ開側へ戻してください。
- ※特に寒い状態で始動させるときは必ずチョークを閉じてください。



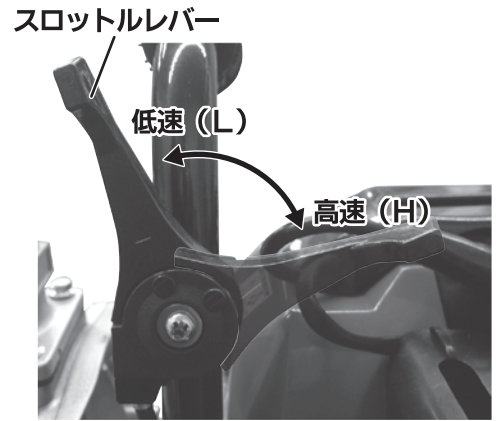
### ●リコイルスターター

- ・スロットルレバーを半分ほど高速（H）側へ動かし、ハンドルを押さえて本体を固定しながらリコイルスターターを引いてエンジンを始動してください。



## ●スロットルレバー

- ・エンジン始動後はスロットルレバーを必要とする回転数に調節してご使用ください。
- ※作業を中断する場合は必ずスロットルレバーを低速（L）にしてください。



## 【エンジンの停止】

- ・エンジンを停止させる際はスロットルレバーを低速（L）にし、回転数を低速にして1～2分ほど運転した後、スイッチをOFFにしてください。



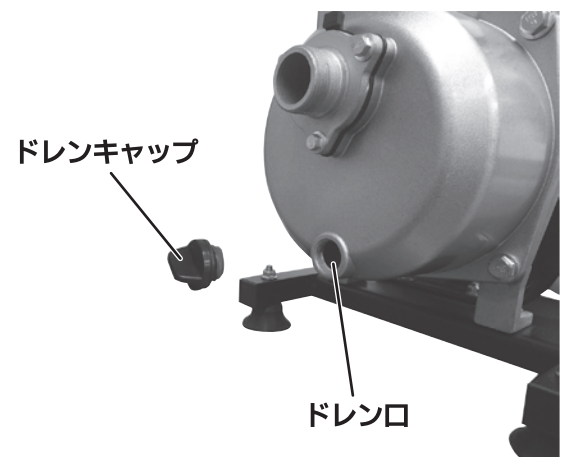
## 【保守と点検】

### ⚠ 警告

- ・整備・点検・修理・燃料補給を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。
- ・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れの確認をしてください。

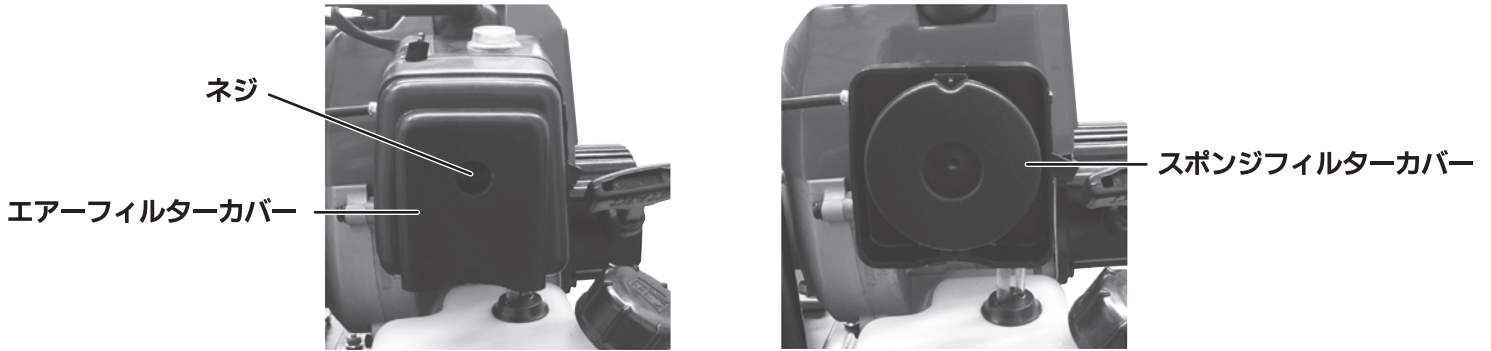
## ●ポンプ内の洗浄

- ・使用後はポンプ内をきれいな水で洗浄してください。
- ・ドレンキャップを開けてタンク内の水を排出してください。



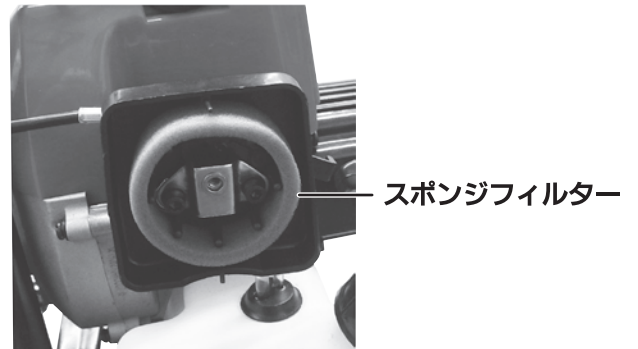
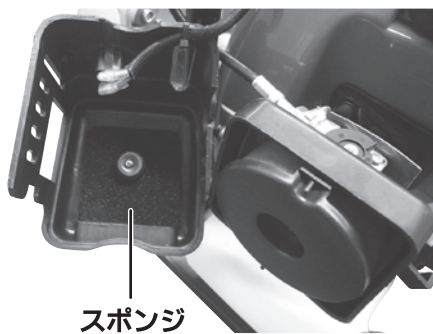
## ●エアフィルターの清掃

- ①エアフィルターカバーを留めているネジを取り外します。
- ②スポンジフィルターカバーを手前に引っ張って取り外します。



- ③エアフィルターカバーの裏に付いている四角いスポンジに付いているゴミを取り除いてください。

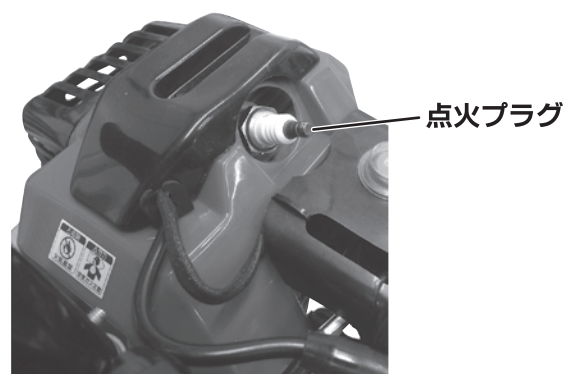
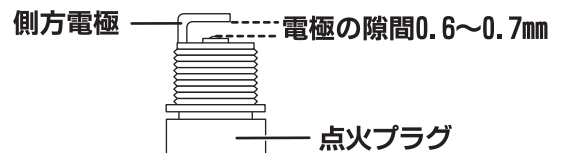
- ④スポンジフィルターカバーの内側にあるスポンジフィルターに着いているゴミを取り除いてください。  
 ※汚れのひどい場合には灯油等でスポンジフィルターを洗浄してください。洗浄後、スポンジフィルターをエンジンオイルにひたし、エンジンオイルを良くしぼった物を取り付けてください。スポンジフィルター内にエンジンオイルの残量が多いと、エンジン不調の原因となります。  
 ※洗浄してもスポンジフィルターの汚れがひどい場合、またはスポンジフィルターの弾力が無くなったり傷みがある場合には、新しい物と交換してください。  
 ※エアフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアフィルターはきれいにしておいてください。



## ●点火プラグの清掃

- ①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチで点火プラグを外します。
- ②電極が汚れている場合には、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシ等でカーボンを落とすか点火プラグを交換してください。  
 ※電極の隙間が大きい場合には、側方電極を曲げて、隙間の調整を行ってください。

標準プラグ	TORCH L6RTC (NGK BPMR6A互換)
-------	----------------------------



## ●燃料フィルターの清掃



警告

- ・燃料が残っている燃料タンクキャップを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。肌についたり目に入った場合はただちに流水で充分洗い流し、体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
- ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。

- ・燃料フィルターが詰まると、燃料が上がらず、エンジンの回転不調の原因となります。定期的に確認してください。

- ①燃料タンクキャップを外し、燃料を抜きます。燃料タンクを空にします。燃料タンク内に異物が残っていないかを確認し、残っている場合はきれいに抜き取ります。
- ②針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
- ③燃料フィルターをガソリンでよく洗います。汚れたガソリンは各自治体指定の方法で処理してください。（汚れのひどいときは交換してください）
- ④燃料タンク内に燃料フィルターを入れ、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。



## ●その他

- ・定期的にマフラーの点検、各部ナット・ネジのゆるみがないかの確認、燃料漏れ・オイル漏れの確認をしてください。
- ・各部に付いたゴミやホコリはしっかりと拭き取ってください。エンジンは、水洗いしないでください。

## 【長期間使用しない場合】

### ●保管方法

- ・長期間（30日以上）使用しない場合には、燃料タンク及びキャブレター内の燃料を抜いてください。
- ※キャブレター内に燃料を残したままにしておきますと、キャブレター内の詰まり、作動不良等の原因となります。
- ※燃料を抜く際は、容器（市販品）等を用意して、周囲に燃料がこぼれないようにしてください。

- ①燃料タンクから燃料を抜き取ってから、針金等を使って燃料フィルターを取り出します。
- ②燃料が出なくなるまで、プライミングポンプを押します。
- ③燃料タンクから燃料を抜き、燃料タンクを空にします。
- ④燃料が抜き終わったら、燃料タンク内に燃料フィルターを戻し、燃料タンクキャップを元通りに取り付けます。
- ⑤最後にエンジンが自然に停止するまでL（低速）で運転をさせてください。  
※必ず呼び水を入れて運転させてください。エンジン停止後にドレン口から排水してください。
- ⑥点火プラグを外し、プラグの穴から少量の2サイクルエンジンオイルを流し込み、リコイルスターターをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせ、点火プラグをもと通りに取り付けてください。
- ⑦リコイルスターターをゆっくり引き、圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- ⑧各部についたゴミやホコリをしっかりと拭きとってください。エンジンは、水洗いしないでください。
- ⑨各部の清掃をきちんと行った後、金属部分には薄くオイルを塗ってください。
- ⑩エンジンが十分冷えていることを確認してから、ホコリがかからないようにカバーなどをしておいてください。  
※保管の際はお子様が触れることのできない鍵のかかった場所等に保管し、湿気の高い場所・雨等の水がかかる場所・直射日光のあたる場所は避けて、高温にならない乾燥した場所に保管してください。  
※燃料は、屋内の火気の心配のない、冷たい乾燥した場所に安全な容器に入れて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

# 【トラブルの原因と対策】



- ・本機の修理は、必ずお買い求めの販売店へお申し付けください。
- ・運転中、本機の調子が悪かったり本機に異常を感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ・取扱説明書の説明以外の分解・修理および改造は絶対に行わないでください。

問題	原因	対策
・エンジンが始動しない、またはすぐ停止する	・燃料が古い、または不足している	・新しい燃料を補給する
	・オーバーチョーク（燃料の吸い込み過ぎ）	・点火プラグを外してリコイルスターターを5・6回引き、点火プラグの電極部を乾かしてから点火プラグを装着して、再度エンジンを始動させる
	・燃料が回っていない	・プライミングポンプを押す
	・点火プラグが汚れている	・点火プラグを掃除、または交換する
	・点火ミスをする	・点火プラグを交換する
	・燃料ホースが折れている、または外れている	・燃料が流れやすいように燃料ホースを調節する
	・エアフィルターが汚れている	・エアフィルターの掃除をする
	・マフラーにカーボンが詰まっている	・マフラーの掃除・カーボン除去をする
	・暖機不足	・暖機運転をする
	・エンジンが暖まっているのにチョークレバーが「閉」側になっている	・チョークレバーを「開」にする
	・圧縮が不足している	・お買い求めの販売店へ相談する
・吐出量が少ない	・エンジンが故障している	・お買い求めの販売店へ相談する
	・吸水側から空気を吸い込んでいる	・吸水ホース・ストレーナーを確実に接続する
	・吸水ホースが破損している	・吸水ホースを交換する
	・吸水揚程が高すぎる	・水面からポンプまでの高さを低くする
	・吐出側で水が漏れている	・吐出ホースを確実に接続する
	・吐出ホースが破損している	・吐出ホースを交換する
	・ドレン口が開いている	・ドレンキャップを確実に締める
	・ポンプ・ストレーナーに異物が詰まっている	・ポンプ・ストレーナーを清掃する
・エンジン・ポンプが故障している	・お買い求めの販売店へ相談する	
・ポンプが自吸しない	・吸水側から空気を吸い込んでいる	・吸水ホース・ストレーナーを確実に接続する
		・吸水ホースが破損している
	・呼び水が足りない	・呼び水口いっぱい呼び水を入れる
	・ドレン口が開いている	・ドレンキャップを確実に締める
	・エンジン・ポンプが故障している	・お買い求めの販売店へ相談する

※上記の表は簡単な異常に対しての対策のみを記載しておりますので、わからない点や複雑な異常については、お買い上げいただきました販売店へご相談ください。

# 株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

**お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101**

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。